



31.3.18
杉並区広報課

知ることが力になる

「写真家清水一二 しみずかずじ パラスポーツ報道写真展」

18日、区役所1階ロビーでは、東京2020競技大会500日前イベントとして、パラスポーツ報道写真展が始まりました。会場では、30年にわたり障害者スポーツの記録活動を続けている清水一二さんが撮影した、迫力のあるパラスポーツの写真をご覧になれます。また、報道写真展のほか、パラリンピック競技である「ボッチャ」を体験できるコーナーも設置しています。イベントは3月22日まで開催しています。

本日3月18日、区役所1階ロビーでは、3月12日に東京2020競技大会500日前を迎えた記念イベントとして、東京2020大会杉並区オリンピック・パラリンピック推進事業「パラスポーツ報道写真展&ボッチャ体験会」が始まりました。

写真展では、30年にわたり障害者スポーツの記録活動を続けている写真家の清水一二さんの作品を展示しています。日本大学芸術学部写真学科卒業後、神奈川リハビリテーションセンターに勤務していた清水さんは、そこで障害者スポーツに出会いました。記録活動を通じ、国内外の選手や団体との親交も厚い清水さんは、長野冬季パラリンピック及びシドニーパラリンピックでは、日本人唯一の国際パラリンピック・メディアスタッフとして撮影を行いました。



展示では、リオ2016パラリンピック時の水泳や車いすバスケットボールなどで、選手が躍動している瞬間をご覧になれます。

また同会場では、パラリンピック競技である「ボッチャ」を体験できるコーナーも設置しています。初めて体験したという参加者は、「テレビで見ると簡単そうだけど、実際にやると難しい」と苦笑いで話しました。



パラスポーツ報道写真展&ボッチャ体験会は、観覧無料で、21日（木・祝）を除き22日まで開催しています。

【問い合わせ先】

オリンピック・パラリンピック連携推進担当 03-3312-2111 内線 3774